

第6学年 音楽科学習指導案

- 1 題材 思いや様子を表しながら工夫して歌おう
 教材曲 「ふるさと」 文部省唱歌／高野辰之 作詞／岡野 貞一 作曲／浦田健次郎 編曲

2 学習指導の考え方

このような子どもたちだから

本学年の子どもたちは、音楽を聴くことが好きで歌うことにも意欲的に取り組んでいる。これまで、日本の美しい情景を歌った「おぼろ月夜」「われは海の子」を歌詞と曲想を感じ取り美しい日本の情景を想像しながら歌うことを楽しんできている。歌詞や楽曲を形づくっている要素のかかわり合いから歌い方の工夫を考えようとすることはできるが、曲想を感じ取り、それを生かした歌い方の工夫をもとに豊かな響きのある声で表現することはまだ十分ではない。

このような教材で

○ 歌唱曲「ふるさと」は、大正3年に尋常小学校唱歌に掲載されて以来長く歌い継がれてきた曲で「おぼろ月夜」と同じ作詞者・作曲者による。昭和33年より歌唱共通教材としてとりあげられ、世代を超えて歌い継がれてきた日本のよき音楽文化そのものといえることができる楽曲である。

歌詞は、文語体で書かれている。1番では忘れられない思い出がたくさんあった故郷の情景を歌い、2番ではその故郷で共に過ごした父母や友人のことを懐かしみ、3番ではそんな故郷にいつか帰ろうという故郷への強い思いを歌っている。3/4拍子、へ長調、ゆるやかに流れるような旋律、繰り返しのリズムで歌いやすい楽曲で、曲想も感じ取りやすい楽曲である。

これらのことから、歌詞の内容や曲想を生かしたり、音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取ったりしながら歌い方の工夫をし、思いや意図をもって歌う学習に適していると考ええる。

このような指導・支援を行いながら

○ **つかむ段階**
 曲想を感じ取り学習の見通しをもつために、範唱を聴き、そのよさや美しさを感じ取り、音楽を特徴付ける要素や音楽の仕組みを聴き取る活動を行う。その際、歌詞の聴き取りをし歌詞の意味やこの歌に込められた思いを理解するようにする。

○ **深める段階**
 まず、正しい音程とリズムで歌えるようになるために、階名唱や範唱と自分たちの歌の聴き比べの活動をする。次に、「ふるさと」をどんな思いで表現していくのか、そのために何を工夫していくのか、自分の考えをもち、グループで考えをまとめることで、次時への活動につなげる。

○ **味わう段階**
 「ふるさと」の曲に込められた思いや様子を表しながら工夫して歌うことができるように、グループで歌い方の工夫を話し合う活動を行う。その際、「ふるさと」の曲に込められた思いが表れるように、音楽を特徴付けている要素を生かした表現の工夫ができるようにする。

発展学習として、三部合唱の見通しをもつことや重なり合う音の響きを味わいながら三部合唱をする活動を行う。

このような目標を設定して学習指導を展開します

○ 歌詞内容と音楽を形づくっている要素とのかかわり合いから表現の工夫を考え、豊かな響きのある声で三部合唱をすることができる。

3 学習指導計画（全3時間）

題材	教材曲	つかむ段階(第1時)	深める段階(第2時)	味わう段階	
				(第3時)	発展学習
思いや様子を表しながら歌おう	「ふるさと」				三部合唱へ

4 (1) 評価と評価計画 (題材の展開と題材の評価規準→単位時間ごとの学習計画における評価規準)

	題材の評価規準	ア 音楽への関心・意欲・態度	イ 音楽的な感受や表現の工夫	ウ 表現の技能	エ 鑑賞の能力
		歌唱表現を聴いて同じように歌いたいという思いや願いをもち、創造性を生かした意欲的な歌唱表現をしようとしている。	歌詞の表す情景や気持ちを想像し理解するとともに、楽曲の構成を理解してそれらを生かした歌唱表現を工夫している。	範唱から、リズムや音程、歌詞の発音などの豊かな表現を聴き取って歌っている。	楽曲全体の構成音楽を特徴づけている要素と曲想のかかわりに気を付けて聴くとともに、曲想を全体的に味わって聴いている。
本題材で取り上げる活動と評価のかかわり	歌唱	○	○	○	
	器楽				
	音楽づくり				
	鑑賞				○
学習過程	主な学習活動と内容	単位時間ごとの学習における具体的な評価規準			
つかむ段階	ねらい： 「ふるさと」の歌詞に込められた情景や想いを想像しながら、主旋律を歌い、曲想を感じ取ることができるようにする。				
	○ 「ふるさと」の範唱を聴き、曲想を感じ取る。 ・ 歌詞に込められた情景や想いを想像しながら、主旋律を歌い、曲想を感じ取ること。 活用 ○ 「ふるさと」の範唱を聴き、正しい音程・リズムで主旋律を歌う。	① すぐれた表現を聴いて、積極的に音楽の美しさや特徴を感じ取っている。 【鑑賞】 (発言、ノート)			① 言葉の美しさや旋律の美しさ、そしてその関わり合いの美しさなどを感じ取って聴き、楽曲全体の構成を理解する。 【鑑賞】 (発言、ノート)
ふかめる段階	ねらい： 「ふるさと」の1番の歌い方の工夫をすることができる。				
	○ 「ふるさと」の1番に込められた思いが表れるように、歌い方の工夫をする。 ・ 正しい音程やリズムで1番の歌い方を工夫する。 活用			① 曲想表現に合う呼吸や発音の仕方、歌詞内容にふさわしいはっきりした発音に気を付けて歌うとともに母音や子音、濁音や鼻濁音などの発音に気を付けて歌っている。【歌唱】 (演奏の聴取)	
味わう段階 本時の6の2	ねらい： 「ふるさと」の2番・3番に込められた思いが表れるような歌い方の工夫をすることができる。				
	○ 「ふるさと」の曲に込められた思いが表れるように歌い方の工夫をして歌う。 ○ グループに分かれて演奏を発表し、感想を話し合う。 ・ 歌詞の内容、曲想を生かした表現を工夫し、思いや意図をもって歌うこと。活用		① 声や伴奏の音とのかかわり合いによって生み出される様々な豊かな響きを感じ取り、歌詞のもつリズムや言葉の抑揚などに気を付けながらきれいな発音に心がけて表現に生かしている。 【歌唱】(演奏の様子の観察、演奏の聴取、ノート)		

(2) 観点別評価の進め方

【音楽への関心・意欲・態度】

学習活動における具体的評価規準	具体的な評価方法とCと判断される場合の支援
<p>アー①</p> <p>① すぐれた表現を聴いて、積極的によりよい歌唱表現を求める気持ちを高めている。</p> <p style="text-align: right;">【歌唱】 (発言, ノート)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 評価方法 この評価規準については、学習プリントへの書き込み、発表時の子どもたちの様子(挙手しているか)や発表の内容(筋道を立てて説明しているか)を観察する。 ● Aと判断するキーワード <ul style="list-style-type: none"> □ 聴き取ったことを根拠にした音楽的な意見 □ 自分で考え、筋道立てて発表する ● Cと判断される子どもへの支援 聴き取ったこと感じ取ったことを、板書を指し示してふり返らせ、思考の手順を示しながら、教師も一緒に考える。

【音楽的な感受や表現の工夫】

学習活動における具体的評価規準	具体的な評価方法とCと判断される場合の支援
<p>イー①</p> <p>① 声や伴奏の音とのかかわり合いによって生み出される様々な豊かな響きを感じ取り、歌詞のもつリズムや言葉の抑揚などに気を付けながらきれいな発音に心がけて表現に生かしている。</p> <p style="text-align: right;">【歌唱】 (演奏の様子の観察, 演奏の聴取, ノート)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 評価方法 この評価規準については、グループ活動で友達と一緒に表現の工夫について話し合い、歌い方の工夫を考えている場面で判断する。 ● Aと判断するキーワード <ul style="list-style-type: none"> □ 進んで話し合いに参加し、よりよい表現への追及 □ 工夫したことが歌唱表現に表れている ● Cと判断される子どもへの支援 ノートや拡大楽譜の書き込みをふり返らせる。友達の表現のよいところを聴かせたり、一緒に歌わせたりする。

【表現の技能】

学習活動における具体的評価規準	具体的な評価方法とCと判断される場合の支援
<p>ウー①</p> <p>① 曲想表現に合う呼吸や発音の仕方、歌詞内容にふさわしいはっきりした発音に気を付けて歌うとともに母音や子音、濁音や鼻濁音などの発音に気を付けて歌っている。</p> <p style="text-align: right;">【歌唱】 (演奏の聴取)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 評価方法 この評価規準については、楽譜へのへ長調の書き込みやへ長調の音階での歌唱の様子を観察したり、表現を聴取したりして判断する。 ● Aと判断するキーワード <ul style="list-style-type: none"> □ 自分で正確に楽譜へ書き込む □ 美しい表現への追及 ● Cと判断される子どもへの支援 楽譜を見ながら、一つ一つの音を考えたり一緒に歌ったりする。

【鑑賞の能力】

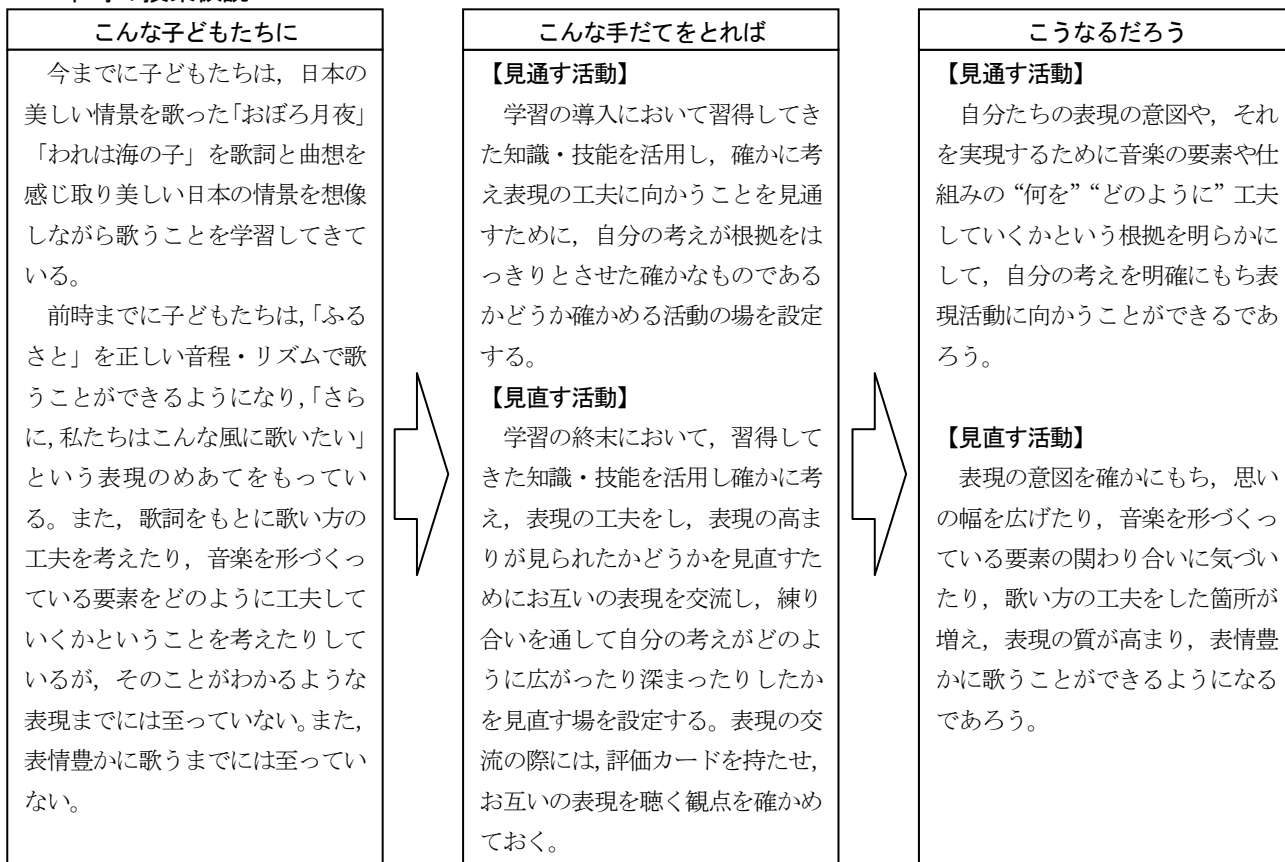
学習活動における具体的評価規準	具体的な評価方法とCと判断される場合の支援
<p>エー①</p> <p>① 言葉の美しさや旋律の美しさ、そしてそのかかわり合いの美しさなどを感じ取って聴き、楽曲全体の構成で理解する。</p> <p style="text-align: right;">【歌唱】 (発言, ノート)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 評価方法 この評価規準については、範唱を聴いた後の発表の内容やノートへの書き込みから判断する。 ● Aと判断するキーワード <ul style="list-style-type: none"> □ 楽曲の特徴についての気付き □ 題材のねらいに即した発言 ● Cと判断される子どもへの支援 直接会話をし、その受け答えの中から本人の気付いていることを明確にする。

5 本時 (3/3 味わう段階) 公開授業① 6年 組教室にて 指導者

6 本時の目標

- 「ふるさと」の歌詞の内容、「ふるさと」の音楽を形づくっている要素のかかり合いを感じ取り、それを生かした歌い方の工夫をして歌うことができる。

7 本時の授業仮説



8 準備

- 教師… 情景画、縦書きの歌詞、拡大楽譜、範唱CD、自動伴奏付オルガン2台
- 子ども… 学習プリント

9 板書計画

思いや様子を表しながら工夫して歌おう
「ふるさと」

情景画

めあて
「ふるさと」の2番・3番にこめられた思いや様子が表れるように工夫して歌おう。

強弱

歌詞

速度

表情

拍の流れやフレーズ

★グループで工夫しよう

ステップ1 「表現のめあて」を確かめよう

ステップ2 そのために、音楽のもとや仕組みの何をしたようにしたいか、楽譜に書きこもう

ステップ3 繰り返し歌ってみて、本当に考えた工夫が表れるように歌えているか聴きあい、確かめ、練り上げよう

☆聴き取ろう

Aグループを聴いて

Bグループを聴いて

- ・2番はゆっくり
- ・2番は優しい
- おだやかな感じ
- 感じ
- ・3番は力強い感じ
- ・3番はしっかり
- はっきりした感じ

今日の学習で

- ・強弱、速度、表情を工夫できた。
- ・曲の感じが出るように工夫できた。

10 本時の展開

学習活動と内容	指導・支援(☆は習得, ★は活用)◆評価規準
<p>1 「ふるさと」の主旋律を階名唱や歌詞唱で歌い、本時のめあてについて話し合う。</p> <div data-bbox="204 353 1267 434" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>めあて 「ふるさと」の2番・3番にこめられた思いや様子が表れるように、歌い方の工夫をして歌おう。</p> </div> <p>2 「ふるさと」の2番・3番に込められた思いや様子が表れるように、歌い方の工夫をする。</p> <p>(1) 見通す活動をする。</p> <div data-bbox="177 562 774 909" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【見通す活動】 グループで自分たちが表したい思いや様子、そのためにどのような工夫を考えているか確かめあう。</p> <div data-bbox="204 712 268 786" style="float: left; margin-right: 10px;"></div> <div data-bbox="272 712 758 887" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>ぼくは、「ふるさと」の2番は家族を思う温かくて穏やかな感じを表現したいから、拍の流れを工夫したいな。なめらかに優しい感じで歌いたいな。</p> </div> </div> <p>(2) グループに分かれて工夫して歌う。</p> <div data-bbox="177 1010 774 1144" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>表現のめあて 昔のことやふるさとのことを懐かしんでいる思いや、そのふるさとの穏やかで美しい様子を表そう。</p> </div> <p>(3) 見直す活動をする。</p> <div data-bbox="177 1234 774 1697" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【見直す活動】 グループで練り上げた表現を聴きあい、感想を出し合う。</p> <div data-bbox="204 1525 268 1599" style="float: left; margin-right: 10px;"></div> <div data-bbox="272 1361 758 1697" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>私たちは、3番で自分が将来に向かってがんばろうという思いを歌うために、強弱を工夫しました。</p> <p>でも、Bグループの表現を聴いて、「ころごしを～」のところを1音ずつはっきりと歌うことで、より自分の強い思いを表現しているような気がしました。</p> </div> </div> <p>3 本時学習のまとめをする。</p> <p>(1) それぞれのグループの表現のよいところを取り入れ、全体で歌いまとめをする。</p> <p>(2) 最後の「ふるさと～」の部分だけ三部合唱で歌い三部合唱のよさを感じ取らせる。</p> <p>(3) 本時学習を振り返るために、学習プリントに感想をまとめ、発表する。</p>	<p>○ 前時までの学習を想起し、本時学習でのめあてをつかむことができるように、前時学習まで活用してきた情景画や書き込みをしてきた拡大楽譜を掲示しておく。</p> <div data-bbox="826 479 1422 600" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;"> <p>歌詞の内容、曲想を生かした表現を工夫し、思いや意図をもって歌うこと。</p> </div> <p>○ これまで習得してきた知識・技能を活用し、確かに考え表現の工夫に向かうことができるために、自分の考えが根拠をはっきりさせた確かなものであるかどうか、見通す活動の場を設定する。</p> <p>★ 「ふるさと」に込められた思いが表れるように、速度・強弱・拍の流れやフレーズを感じ取った歌い方などの音楽を特徴付けている要素を工夫して歌うこと。</p> <p>○ 自分たちの表現の課題をもち、歌いながら表現の練り合いをすることができるために、児童の歌唱の技能、課題意識を考慮してグループを編成する。</p> <p>○ 自分たちの表現の課題を常に意識して歌い、表現の工夫を考えた跡が残るように、グループに1枚ずつ拡大楽譜を用意し、考えた工夫を書き込ませていくようにする。</p> <div data-bbox="826 1211 1422 1585" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;"> <p>○ 習得してきた知識・技能を活用し、確かに考え、表現の工夫をし、表現の高まりが見られたかどうか、練り合いを通して自分の考えがどのように広がったり深まったりしたかを見直すことができるために、グループで工夫し練り上げてきた表現を互いに聴き合い見直す場を設定する。</p> <p>○ 聴き合い活動を通して「何を見直すのか」という課題意識をもって聴く活動に臨むことができるために、評価カードを書かせる。</p> </div> <p>◆ 声や伴奏の音とのかかわり合いによって生み出される様々な豊かな響きを感じ取り、歌詞のもつリズムや言葉の抑揚などに気を付けながらきれいな発音に心がけて表現に生かしている。(イ-①)</p> <p>○ 児童の相互評価により、自分たちの考えがどのように広がったり深まったりしたかを見直すことができ、表現の高まりにつながったことを確かめるために、教師による評価をする。</p> <p>○ 三部合唱に少しふれることで、より思いや様子を表すことができるという三部合唱のよさを感じ取らせ、次時からの意欲につなぐ。</p>